

横浜型医療的ケア児・者等支援促進事業の取組状況について

1 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターの活動実績について

(1) 相談支援について（令和7年度4月～12月）

ア 相談件数：延 537 件（うち新規 288 件） ※前年同時期 延 633 件（うち新規 373 件）

ア) 1 拠点あたりの、1 か月ごとの平均相談件数は約10件で、昨年度より減少しました。

拠点名	4～6月		7～9月		10～12月		合計		合計《前年》	
	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数
青葉区	27	35	25	34	17	28	69	97	89	93
都筑区	30	36	39	52	37	51	106	139	91	132
鶴見区	14	31	9	23	10	19	33	73	43	76
旭区	12	21	7	12	4	11	23	44	51	83
南区	5	33	0	26	12	32	17	91	45	141
磯子区	11	27	13	34	16	32	40	93	54	108
合計	99	183	93	181	96	173	288	537	373	633

イ 相談対象者の年齢

ア) 「幼児①（1～3歳未満）」の割合が最も多くなっています。

イ) 昨年度と比較すると、「幼児①（1～3歳未満）」「幼児②（3～6歳未満）」と「児童①小学生（6～12歳未満）」の割合が増加しています。

相談対象者の年齢	新規	総数	%
乳児（1歳未満）	35	51	9.5%
幼児①（1～3歳未満）	96	195	36.3%
幼児②（3～6歳未満）	78	149	27.7%
児童①小学生（6～12歳未満）	36	86	16.0%
児童②中学生（12～15歳未満）	5	10	1.9%
児童③高校生（15～18歳未満）	7	13	2.4%
18歳以上	23	25	4.7%
年齢不明	8	8	1.5%
合計	288	537	100.0%

新規 《前年》	総数 《前年》	%
67	95	15.0%
100	182	28.8%
78	155	24.5%
56	96	15.2%
9	14	2.2%
14	30	4.7%
33	45	7.1%
16	16	2.5%
373	633	100.0%

ウ 相談者（延数）

ア) 相談者は、「行政」が最も多くなっています

イ) 昨年度に比べると「行政」や「基幹相談支援センター」、「訪問看護ステーション」、「保育園」からの相談が増えました。

相談者	件数	件数《前年》
家族	115	136
行政	167	164
病院	44	98
基幹相談支援センター	9	4
訪問看護ステーション	46	32
保育園	72	44
福祉施設	10	20
計画相談支援事業所	24	42
療育センター	7	19
学校	12	15
その他	31	59
合計	537	633

エ 相談内容（重複あり）

「保育園」に関する相談が最も多く、次いで「医療的ケア」となっています。

相談内容	件数	件数《前年》
退院調整	29	61
医療機関	35	49
訪問看護	55	73
訪問系サービス	19	56
外出支援	7	14
日中活動の場	63	53
施設等の一時利用	17	11
居住支援	19	21
補装具・日常生活用具	13	14
計画相談支援	21	20
レスパイト	16	20
年齢移行	5	11
医療的ケア	123	94
保育園	206	235
幼稚園	21	7
学校	85	80
合計	734	819

(2) コーディネーターの支援とネットワークづくり

ア コーディネーター定例会

コーディネーターと本市担当者、医師会担当者で月1回定例会を行っています。定例会では、福祉的な視点の強化や関係機関との連携をテーマにした講義やワークを実施し、コーディネーターのスキルアップを図っています。その他、各種制度等の情報共有や調整状況の共有なども行っています。

イ 地域でのネットワーク形成と普及啓発（令和7年12月末時点）

関係機関の連絡会や研修会等にコーディネーターが出席し、本事業の普及啓発を行うとともに、関係機関との連携強化や、地域の支援者への助言・技術支援なども行っています。

ア) コーディネーターが出席した連絡会等

- 小児在宅医療検討委員会 ○区自立支援協議会（重心部会等）
- 在宅医療連携拠点会議 ○医ケア児・者等家族会
- 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会 ○区訪問看護連絡会
- 関東1都4県コーディネーター連絡会 ○個別避難計画検討会
- 医療的ケア児サポート保育園連絡会 ○区小児事例検討会

イ) コーディネーターが訪問した関係機関等

- 放課後等デイサービス事業所 ○医療機関

ウ) 地域の支援者への助言・技術指導等

- 保育園 ○医療機関 ○放課後等デイサービス事業所

2 コーディネーターの養成について

令和4年度に「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」を実施し4名を養成し、令和5年度から6拠点のうち4拠点に2名のコーディネーターを配置しています。

また、令和8年度にはコーディネーター候補者を養成し、令和9年度より配置予定です。

(1) コーディネーター候補者について

旭区・南区コーディネーター拠点を設置している区医師会訪問看護ステーションに所属する訪問看護師 2名

(2) コーディネーター養成の研修について

「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」は、国の「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」のカリキュラムだけでなく、医療機関・福祉施設・学校等での実地研修を加えた内容としています。

3 各種研修の実施状況について

(1) コーディネーターのフォローアップ研修

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター 10名

イ 目的

コーディネーターの役割を確認し、活動について振り返る機会をもつ。

ウ 日時・場所・内容

3月13日（金）午前 横浜市医師会会議室 ファシリテーションに関する研修を実施予定

(2) 支援者フォローアップ研修

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修受講者

イ 目的

- ア) 横浜市の防災に関する取組を知る。
- イ) 医療的ケア児の特性を踏まえ、平時から関係者と情報共有すべき内容を理解する。
- ウ) 地域・家族・支援者の連携強化による「共助」の推進につながる。

ウ 講師

横浜市総務局地域防災課・健康福祉局福祉保健課・医療局地域医療課

エ 日時・場所

令和7年11月26日(水) 15時00分～17時00分

Teams オンラインミーティング(横浜市庁舎より配信)

オ 参加者

41名

カ 内容

「医療的ケア児・者等のための災害対策研修～横浜市の取り組みと自助・共助のヒント～」
講義 「横浜市の災害対策について」 総務局地域防災課
「災害時要援護者支援について」 健康福祉局福祉保健課
「人工呼吸器等電源を要する医療的ケア児・者等の災害時個別避難計画について」
医療局地域医療課

(3) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修

ア 対象者

市内訪問看護ステーション所属の訪問看護師、障害福祉サービス事業所、保育園・幼稚園・学校・医療機関等で従事する方の中で医療的ケア児・者等の支援に関心がある方(定員:50名)

※スポット受講は定員を設けず、Zoomでの参加が可能

イ 目的

「横浜型医療的ケア児・者等支援者」として、医療的ケア児・者等支援及び多職種連携についての基礎的知識を習得し、医療的ケア児・者等支援に関する医療・福祉・教育等に関する知識及び関係者との連携について学習する。

※本研修を全講座来場で受講し、修了した方には「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」修了証書を交付します(「要医療児者支援体制加算」の算定要件の一部です)。

ウ 時期

令和7年5月29日(木)から12月14日(日)まで

18講座 全8日間

エ 修了者

44名(※全講座に来場で受講し、修了した者)

オ その他

支援者養成研修修了者の所属する事業所等の一覧をホームページ上で公表します。

(4) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成見学実習

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者及び横浜市が認める者※

※横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者が所属する施設に従事している職員、医療的ケア児・者等の受入れが決定している施設の職員等

イ 目的

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者等が、必要な知識・技術の習得のために訪問看護ステーション等で見学実習を行い、自身が所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを進める。

ウ 内容

- ア) 習得したい医療的ケアを実践している訪問看護ステーションの看護師に同行し、医療的ケアの準備から実践、観察ポイントや家族のやりとり等、説明の様子を見学する。
- イ) 医療的ケア児・者等が利用予定の施設に講師である訪問看護ステーションの看護師が伺い、医療的ケアの実践、観察ポイント等についてのアドバイスや情報交換を行う。

エ 時期

令和7年4月から令和8年3月末まで（令和7年4月から募集開始）

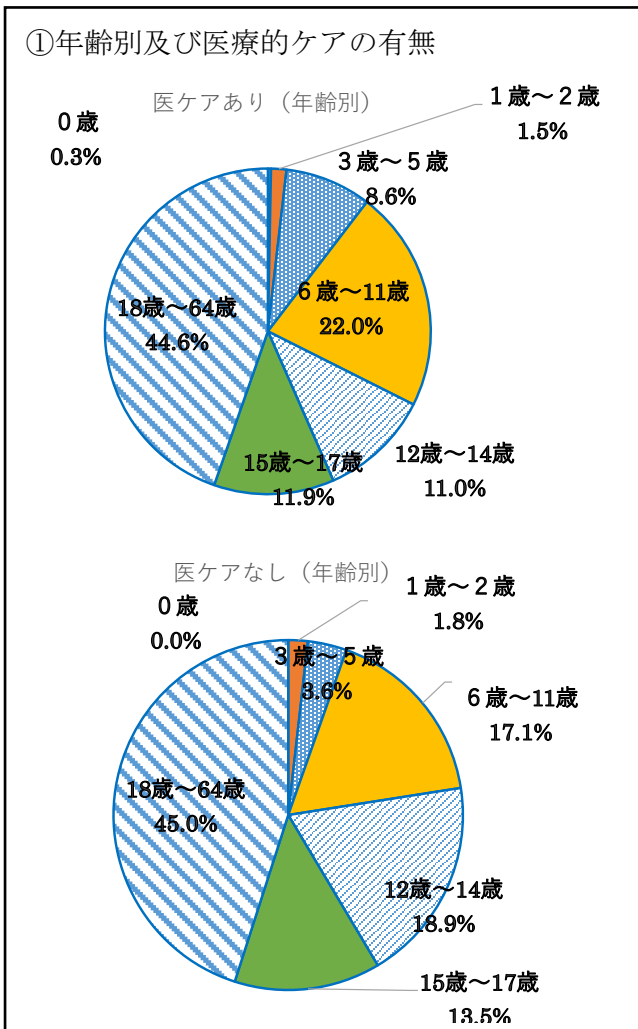
オ 参加者及び申込状況（令和7年12月末時点）

2名



4 医療的ケア児登録フォームの登録状況について

登録者数（令和7年12月末日時点）：448人

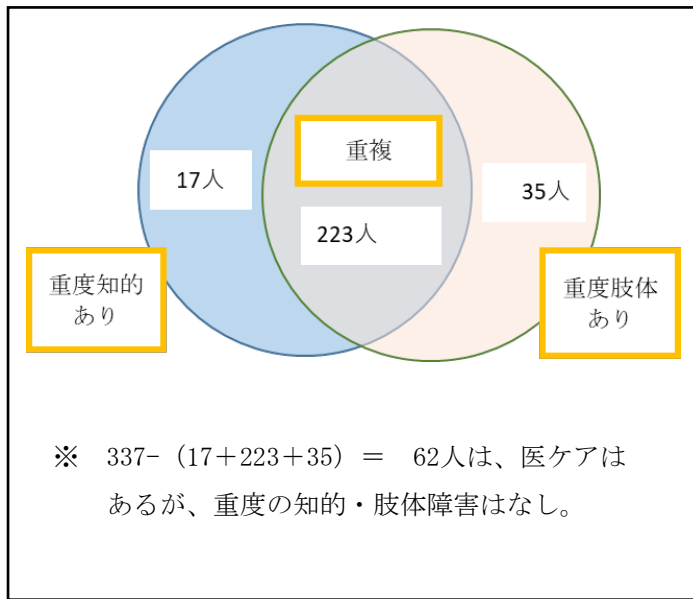


②区別及び医療的ケアの有無（人）

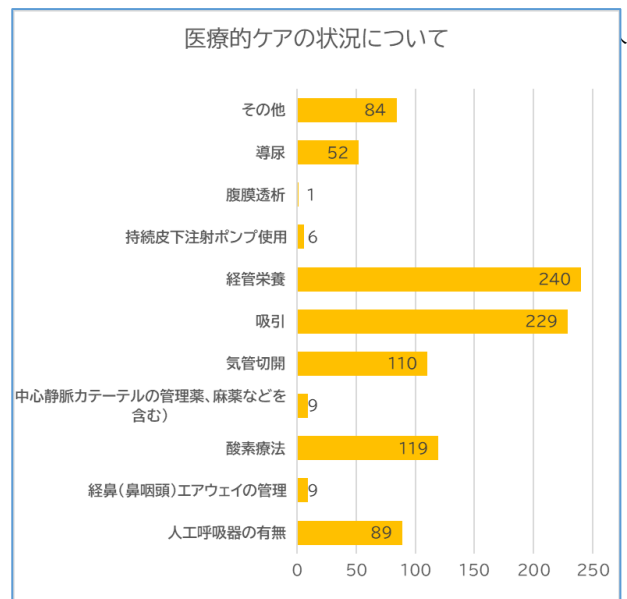
区名	医ケアあり	医ケアなし	未記入	計
鶴見区	22 6.5%	12 10.8%	0 -	34 7.6%
神奈川区	18 5.4%	2 1.8%	1 100.0%	21 4.9%
西区	13 3.9%	4 3.6%	0 -	17 3.8%
中区	12 3.6%	3 2.7%	0 -	15 3.3%
南区	25 7.4%	2 1.8%	0 -	27 6.0%
港南区	14 4.2%	8 7.2%	0 -	22 4.9%
保土ヶ谷区	16 4.8%	5 4.6%	0 -	21 4.7%
旭区	23 6.8%	9 8.1%	0 -	32 7.1%
磯子区	16 4.8%	2 1.8%	0 -	18 4.0%
金沢区	19 5.7%	1 0.9%	0 -	20 4.5%
港北区	39 11.6%	16 14.4%	0 -	55 12.3%
緑区	14 4.2%	13 11.7%	0 -	27 6.0%
青葉区	22 6.4%	10 9.0%	0 -	32 7.1%
都筑区	21 6.4%	6 5.4%	0 -	27 6.0%
戸塚区	26 7.7%	7 6.3%	0 -	33 7.4%
栄区	11 3.3%	2 1.8%	0 -	13 2.9%
泉区	12 3.6%	7 6.3%	0 -	19 4.2%
瀬谷区	13 3.9%	2 1.8%	0 -	15 3.3%
計	336 100.1%	111 100.0%	1 100.0%	448 100.0%

③医療的ケア有りとは回答した方（337人）

のうち、重度知的障害と重度肢体障害がある方

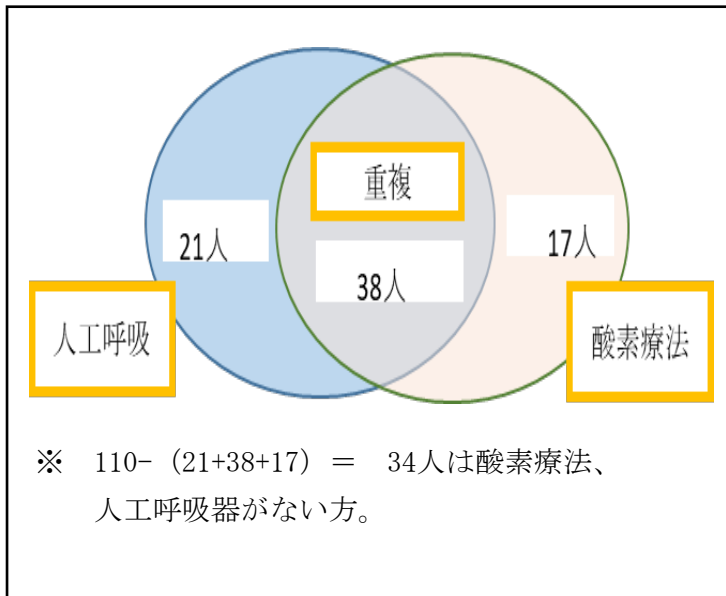


④医療的ケアの状況について



(参考) 障害の重複状況について

①気管切開の方（110人）の医療的ケア重複状況



②人工呼吸器と経管栄養の重複状況

